

[成果情報名] 春作マルチ栽培のジャガイモ「アイユタカ」を増収させる栽培条件

[要約] 春作マルチ栽培のジャガイモ「アイユタカ」で一期作産種いもを使用した場合、種いもを冷蔵貯蔵後、浴光処理し、栽植密度を 732 株/a にすることで増収する。この栽培条件で栽培すると 2L,L 比率は低下するが、上いも重が多いため粗収益が高い。

[キーワード] ジャガイモ、アイユタカ、春作マルチ栽培、栽植密度、種いも

[担当] 総合農林試験場・愛野馬鈴薯支場・育種栽培科

[連絡先] 電話0957-36-0043

[区分] いも類

[分類] 指導

[背景・ねらい]

春作マルチ栽培において、一期作産種いもを使用したジャガイモ「アイユタカ」を普及させるためには、増収対策は不可欠である。これまでの試験結果から、本品種は種いもの植え付けまでの種いもを慣行処理（常温貯蔵、浴光処理）より、常温貯蔵・無浴光処理あるいは冷蔵貯蔵・浴光処理した方が収量が高まるとの報告がある（H19：成果情報）。

そこで、さらに増収を図るために、植付けまでの種いも管理法と栽植密度の違いによる収量、品質の変化を調査し、増収効果の高い栽培条件を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. いずれの管理法でも、栽植密度が高くなると上いも重は増加し、平均1個重は低下する。（表1、図1）。
2. 冷蔵・浴光区は、常温・無光区に比べ、密植でも平均1個重の低下割合が小さい（表1、図1）。
3. 密植にすると2L,L比率は標準植に比べ、いずれの管理法でも減少するが、減少傾向は冷蔵・浴光区が常温・無光区に比べ小さい（表1）。
4. 粗収益が最も高い栽培法は冷蔵・浴光区の種いもを用い密植した栽培法である（表1）。

[成果の活用と留意点]

1. 本試験は北海道産種いもを使用したものである。
2. 一期作産種いもを使用する春作マルチ栽培に適応できる。
3. 密植の場合には、生育期間を十分に確保し、早掘りしない。
4. 本情報は増収を目的とした栽培時のとりまとめであり、2L,L 比率向上を目指す場合には、栽植密度を低くしたり、生育期間を確保するなどの栽培条件が有効である。
5. アイユタカ栽培指針の作成資料とする。

[具体的データ]

表1 春作マルチ栽培における一期作産種いも「アイユタカ」を使用した栽植密度反応試験成績

栽培条件		試験年次	上いも数 (個/株)	上いも重規格別重量割合(%)				上いも重 (kg/a)	対標比 (%)	2L, L		平均1個重 (g)	粗収益 (円/a)	2L.L		
浴光 貯蔵 処理 条件 の有無	栽植 密度			3L 以上	2L	L	M			S	比率			収量 (kg/a)	粗収益 (円/a)	割合 (%)
常温 無光	標準植	H18	6.9	1	21	37	30	11	360	100	58	208	85	42,968	30,406	71
		H19	7.6	8	35	33	19	5	496	100	68	340	106			
	平均		7.2	5	28	35	24	8	428	100	63	274	96			
	密植	H18	7.6	2	12	31	40	16	405	112	43	174	73			
		H19	8.0	7	23	31	32	7	544	110	54	292	92			
	平均		7.8	4	17	31	36	11	474	111	48	233	82			
冷蔵 浴光	標準植	H18	8.0	3	12	35	37	14	376	100	47	175	77	42,221	25,376	60
		H19	9.1	3	20	36	35	6	497	100	56	279	89			
	平均		8.5	3	16	35	36	10	436	100	51	227	83			
	密植	H18	7.8	1	11	29	43	15	420	112	40	169	73			
		H19	9.4	4	19	38	30	8	607	122	57	347	88			
	平均		8.6	3	15	34	37	12	514	118	49	258	80			

注1) 階級: 3L以上: 220g以上、2L: 220~140g、L: 140~90g、M: 90~50g、S: 50~30g

2) 上いも重には、緑化いも、そうか病いもが含まれる。

3) 粗収益は各階級の平成18,19年の平均単価と重量を乗じたものである。

4) 耕種概要

① 植付日: H18: 1/25 H19: 1/24

② 収穫日: H18: 5/9 H19: 5/11

③ 栽植密度: 標準植: 615株/a (畦幅65cm × 株間25cm)

密植: 732株/a (畦幅65cm × 株間21cm)

④ 施肥量(kg/10a): N: 18.9, P₂O₅: 16.8, K₂O: 16.8

⑤ 種いも処理

・常温無光処理区: 常温貯蔵(〜1/上) → 浴光なし

・冷蔵浴光処理区: 冷蔵貯蔵(〜1/上) → 浴光(1/上〜1/下)

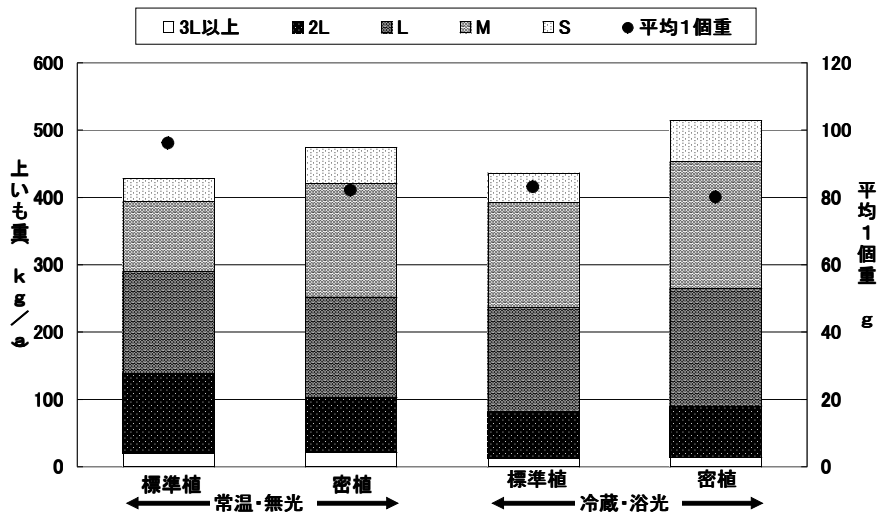


図1 種いも種類と栽植密度と上いも重の差異(平成18,19年の平均値)

[その他]

研究課題名: バレイショ「アイユタカ」等の安定生産技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2005 ~ 2007 年度

研究担当者: 森一幸、田宮誠司、草原典夫